

市議団ニュース

No 1835
2016年3月5日
日本共産党根室市議団
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

一般会計169億9千万円 市2017年度予算案発表

2月22日(水)根室市の長谷川市長は、来年度(2017年度)予算案を発表しました。予算規模は約169億9,100万円で前年度対比1.1%の増となりました。今号は、来年度予算案の中で重点施策部分の一部を紹介いたします。

◆「北斗小トイレ整備事業」約4千5百万円(北斗小学校のトイレを様式トイレに整備する事業)

◆「ふるさと給食事業」約680万円(ふるさと給食の日を年間4回実施、地元食材を使った地元の消費拡大や子どもたちの食育のための事業)

◆「障がい者就労支援事業」約73万円(障がい者の仕事に就くための相談などで「一般就労」を応援する事業)など。

《福祉・保健関連事業》

◆「未来応援学習サポート事業」約160万円(保護者などが経済的に困難な子どもたちのために勉強を支援する事業)

◆「難聴者・中途失聴者支援事業」約20万円(手話講習の開催、窓口に卓上型対話支援機器↓タブレットなどを置き、より良く職員と対話がスムーズに進むための事業)

高遠菜穂子さんからイラク支援報告

昨年、ねむろ「九条の会」100周年記念事業として、「イラクから見る日本」と言うテーマで講演したイラク支援ボランティア高遠さんから、イラクの支援報告が筆者のところに届いたので、ほんの一部をこの紙面でお知らせします。

爆弾落とす有志連合でなく、食料を届けるわれわれ、食糧届ける有志連合こそ

高遠菜穂子さんは、根室の講演後、すぐにイラクへ向かったようです。下の写真は、イラク国内の避難民キャンプで、戦闘が続く地域から逃れ、飲み水、食料の配給を受けるため、長蛇の列がつけられている様子です。

高遠菜穂子さんの報告では、8月の風間猛烈な暑さ(気温42℃以上にも)の中の支援活動ということでした。国内避難キャンプ(バハニア2か所、アリミヤ)に食料パック1275家族分を届けているのが下の写真だそうです。この8月の支援活動では、アメリカ、イギリス、日本、イラクの市民グループのコラボ(協働)で行ったことでした。



「爆弾を落とす有志連合」



《市政施行60周年記念事業》約4100万円

◆記念式典や根室市の歴史・自然等がわか記念講演会など

《ふるさと応援寄付金活用事業》約70事業 約8億5千3百万円

◆「落石ふるさと館」整備事業約1億9000万円(複合型交流施設として地域会館と3歳未満児も受け入れる常設保育所設置)

整備事業11億円(野生動物の保護や自然学習する木道約330mを整備)

◆「ハツタリ川高潮対策改修事業」1億円(高潮被害対策として川の両岸を高くする事業2年間で実施)

◆「北洋サケ・マス対策事業」約1100万円(ロシア海域での流し網禁止による影響部分の一部をカバーするため稚ハナサキガニ・稚ホツカイシマエビを生産する施設を建設する調査のための事業)

◆「厚床へき地保育所整備事業」約6百万円(落石保育所と同様3歳未満児も受け入れる常設保育所への整備事業)

◆「多子世帯保育料・給食費無料化、出産支援、特定不妊・不育治療などの助成、子ども医療費支援事業」約1億7900万円(3人目以降の保育料・給食費の無料化など「子育て支援」の他、民間企業のための人材確保、創業支援などの「雇用対策」などを含む事業)